

# GINGA REPORT 401

No. 84  
2022.05

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和4年5月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 5月の星空

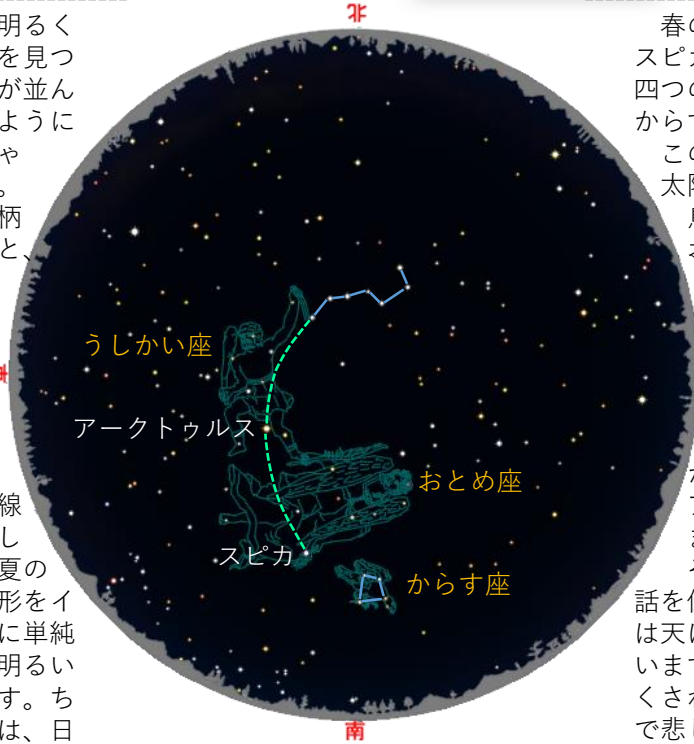
星図：ステラナビゲータ9/(株)アストロアーツ

### 春の大曲線は北斗七星から

夜空を見あげると、北の空に明るく輝く七つの星の並び、北斗七星を見つけることができます。七つの星が並んだ様子が、ちょうどひしゃくのように見えることから、「斗(=ひしゃく)」の名がついた星並びです。

そんな北斗七星のひしゃくの柄をカーブに沿って伸ばしていくと、うしかい座のアークトゥルスに出会えます。アークトゥルスはオレンジ色に輝く一等星です。さらにカーブを延長すると、次は純白の美しい一等星、おとめ座のスピカが見えてきます。

こうして北斗七星から二つの一等星を繋いでできる大きな曲線が「春の大曲線」です。星座探しの目印という、冬の大三角や夏の大三角、秋の四辺形といった図形をイメージしがちですが、春はさらに単純に、線を描くだけで、こうして明るい一等星を見つけることができます。ちなみに春の大曲線という呼び名は、日本のプラネタリウム解説者が考案したものなんだとか。空をなぞる楽しさを感じさせてくれる名前ですね。



4月15日21時の星図

### からす座のお話

春の大曲線を少し延長したところ、スピカの南西にからす座があります。四つの3等星が作るゆがんだ四辺形が、からす座のシンボルマークです。

このからす座は、ギリシャ神話では太陽と芸術の神「アポロン」の使い鳥で、美しい銀色の羽を持った、おしゃべりが得意なカラスでした。ある日、アポロンの妻コロニス は、毎日各地を渡り歩くアポロンになかなか会えない寂しさから、いつしかイスキュスという若者に恋心を抱くようになります。このことが、カラスの口からアポロンに伝えられ、怒ったアポロンはイスキュスを殺してしまいました。

そんなアポロンの怒りは得意げに話を伝えたカラスにもおよび、カラスは天に4本の釘でうちつけられてしまいます。さらには自慢の銀色の羽を黒くされてしまい、現在は釘だけが夜空で悲しく光っているということです。

こうした神話を知ってから見ると、からす座の星の輝きも、また違って見えてきませんか。

## 今月の天文トピック

右図：月に着陸したアポロ11号の宇宙船から撮られた地球の写真

### 「宇宙交響曲」で遠い宇宙におでかけを

5月にはゴールデンウィークもあり、いつもより遠くにおでかけをしたい、そんな人も多いのではないのでしょうか。最近だと宇宙飛行士の募集も話題になりましたが、「月に行って月から地球を眺めてみたい」なんて、宇宙スケールでのおでかけに思いを馳せるのも良いですね。

ここで、人類が初めて月に降り立ったのは1969年7月20日。アポロ11号の月着陸船イーグルが月に着陸し、アームストロング船長とオルドリン飛行士が人類で初めて地球以外の天体を訪れました。当時、アームストロング船長は「一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍だ。」と地球に通信しています。その後、20世紀後半から現在にかけて打ち上げられた多くの探査機により、太陽系やそのずっと先の宇宙の事が少しずつわかってきています。

6月5日(日)まで放映している「宇宙交響曲」でも、素敵な音楽とともに、アポロ11号が月に着陸する様子を見ることが出来ます。ぜひ当館のプラネタリウムで、遠い宇宙におでかけしてみませんか。



## 博物館主催 スターウォッチング

### 博物館主催きらら号観望会

日時：5月28日(土) 20:00~21:30  
場所：博物館前市民公園  
内容：春の星をさがそう



※当日受付・参加無料です。  
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)  
※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。

## 編集後記

太陽の暖かさを感じられるようになる5月。これからはさらに夜の寒さも和らぎ、星空観測にぴったりの季節がやってきます。

ただ、アークトゥルスは、五月雨星(さみだれぼし)や雨夜の星(あまいのほし)なんて和名があるくらい、梅雨時期に空高く昇る星です。おとめ座やうしかい座など、春の星を探すなら、梅雨入り前の今がチャンスでしょう。

## 5月の月

1日		新月
9日		上弦
16日		満月
23日		下弦
30日		新月